

# 胃がん・肺がん・大腸がん検診のお知らせ

## 受付時間

- ・ 午前9時00分より午前10時00分まで

## 持ち物

- ・ 問診票・大腸がん検診検査キット（大腸がん検診申込者のみ）
- ・ 健康保険証等（氏名、年齢、住所の確認）

## 検診料金

科目	対象年齢（検診当日）	料金
胃がん検診（バリウム）	満50歳以上の偶数年齢の方※1	700円
肺がん検診（X線）	満40歳以上のすべての年齢の方	無料
肺がん検診（喀痰）	満50歳以上の方 ※2	400円
大腸がん検診（検便）	満40歳以上のすべての年齢の方	400円

※1 奇数歳であっても、直前の偶数歳時に札幌市胃がん検診を受診していない方は受診可能です。

※2 問診の結果により実施します。

## ◎費用が免除される方……確認できる書類をお持ちください。

免除対象者	持参書類
70歳以上の方	健康保険証等の年齢を確認できるもの。
65歳から69歳の方で後期高齢者医療制度に加入の方（重度障がい者など）	(1)～(2)のいずれか1点 (1) 後期高齢者医療被保険者証 (2) 後期高齢者健診受診券
生活保護世帯の方	(1)～(2)のいずれか1点 (1) 生活保護受給証明書 (2) 生活保護世帯健康診査受診券
市・道民税非課税世帯の方	(1)～(2)のいずれか1点 (1) 市・道民税の「課税」または「所得」または「納税」証明書 （18歳以上の世帯全員分が必要、区役所及び市税事務所で発行） (2) 介護保険料の「納入」または「決定」通知書（介護保険料段階が第1・2・3段階のもの）
支援給付世帯の方	本人確認証

※確認書類をお忘れの場合は無料扱いにできませんのでご注意ください。

## ◎ 検診結果は3～4週間後に郵送いたします。

### 注意事項

<b>胃</b>	<p>① 検診前日はアルコールを避け、夜9時以降の飲食はしないでください。（水は飲んでも大丈夫です）</p> <p>② 検診当日はタバコやガム・アメなども口にしないでください。</p> <p>③ <b>毎朝血圧を下げる薬や心臓病の薬を服用されている方は、検診の2時間以上前にコップ1杯程度の水で薬を飲んでお越しください。</b></p> <p>④ 検診を受ける2時間以上前であれば、コップ1杯程度の水は飲んでもかまいません。</p> <p>⑤ 上半身に、金具、ボタン、ファスナー等が付かないものを着てください。</p> <p>⑥ 女性の方は、下着類に金属、プラスチック等の付かないものを着てください。</p> <p>※ 当日、検査前に飲食してしまった方や、朝インスリン注射や血糖降下剤を服用してしまった方は、当日の検査は受けられません。日程を変えて受診するか、主治医にご相談ください。</p> <p>※ 検診終了後「じんましん・顔面が青白くなる・手足が冷たくなる・息苦しい等」のアレルギー症状が出た場合は速やかに検診スタッフへ連絡または、医療機関を受診し適切な処置を受けてください。</p>
<b>肺</b>	<p>① 上半身に、金具、ボタン、ファスナー等が付かないものを着てください。</p> <p>② 女性の方は、下着類に金属、プラスチック等の付かないものを着てください。</p>
<b>大腸</b>	<p>① 「正しい大便のとり方」をお読みください。</p> <p>② 検診日にできるだけ近い2日分の便を（便秘しがちの方は1週間前から可）採便容器に取り、検診当日持参してください。</p> <p>③ 採便した検体は涼しい場所（冷蔵庫など）に保存してください。（凍結不可）</p> <p>④ 生理中の方、痔の出血が明らかな方は採便をお控えください。</p> <p>⑤ 現在大腸の病気で通院されている方は検査を受けられません。</p> <p>⑥ <b>大腸がん検診のみご希望の方でも、ご来場順に受付をいたします。あらかじめご容赦ください。</b></p>

**バリウム検査をお受けになる前に必ず全ての項目をご確認ください。**

バリウム検査による胃がん検診を受けた場合、まれにご本人の体質や過去にかかった病気によってはアレルギーによる重篤な症状がでたり、バリウムが原因となり腸閉塞を起こしてしまうことがあります。安全に検査を受けていただくために、次の項目を必ずご確認ください。

**① 次の項目に該当する方は、バリウム検査による胃がん検診を受けることができません。医療機関にご相談の上、ほかの検査をお受けください。**

- 妊娠中、または妊娠の可能性がある方。（授乳中の方は受診できます）
- 体重が110kgを超える方。
- 検査台にひとりで立てない、体位変換ができない、握り棒を持って体を支えることができない方。
- 便秘が1週間前後続いている方。
- 飲み込みの障害や過去の検診でバリウムが気管に入ったことがある方。
- 慢性呼吸器疾患で、常時酸素吸入をしている方。
- 腎臓病や心臓病などで水分制限を受けている方。
- 過去に、胃バリウム検査で「じんましん・顔色が青白くなる・手足が冷たくなる・息苦しいなど」のアレルギー症状が出たことがある方。
- 胃ろう施術をされている方。
- すでに胃がんと診断され、治療や経過を見ている方。
- 腸閉塞・腸ねん転・大腸憩室炎などで治療中または、治療されたことのある方。
- 大腸ポリープの内視鏡治療をして3ヵ月以内の方。
- 大腸疾患により、人工肛門を造設されている方。

**② 次の項目に該当する方は、主治医にバリウムによる胃がん検診の可否について相談してください。主治医の許可があれば受診できます。**

- 胃の病気で現在治療中の方
- 食道・胃・小腸・大腸の手術をして1年以内の方。
- 肝臓・膵臓・胆のう・婦人科等の手術（腹腔鏡下手術も含む）をして6ヵ月以内の方。
- 炎症性疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病）で治療中の方。

ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。北海道対がん協会 札幌がん検診センター  
（連絡は平日の午後1時から5時までの間をお願いいたします。）TEL 011-748-5511